



11月17日は「世界早産児デー」です
～当事者団体、医療機関、行政が共同し、
写真展を行いました～



「世界早産児デー」は2011年に制定され、毎年多くの国や、NGO、国連機関や医療に関わる団体が参加して、早産についての認識を高め活動を行っています。

今年度は、当事者団体のポコアポコ（小さく生まれた赤ちゃんのパパママの会）の発案で、県立こども病院と、こども家庭課が協力し、「世界早産児デー」にあわせて写真展示を行いました。ポコアポコの皆様が手作りで作成した素敵な展示は、多くのお子さんたちの成長が感じられ、医療従事者の方への感謝のメッセージに心が暖かくなりました。

この機会に早産で生まれた赤ちゃんの成長と団体の活動を知り、早産児への理解が深まることを願っています。

展示場所：静岡県庁西館2階

主催：ポコアポコ

（小さく生まれた赤ちゃんのパパママの会）

共催：静岡県立こども病院、静岡県

【展示内容】

- ポコアポコ・リトルえんじゅる
 - ・活動紹介パネル
 - ・写真展「こんなに大きくなったよ」
 - ・医療従事者の方への感謝のメッセージ
 - ・リトルベビーハンドブックのこと
- 静岡県立こども病院
 - ・しずおかリトルベビーハンドブック配布状況
- 静岡県
 - ・しずおかリトルベビーハンドブックの特徴、作成経緯、使い方

